

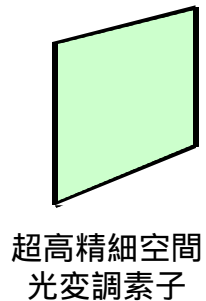
裸眼立体映像提示の高画質化に関する研究開発

ホログラフィーおよびホログラフィーに準じる方式(準ホログラフィー方式)において共通に利用できる空間光変調素子の画素の高密度化技術

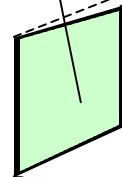
上記で開発する超高精細な空間光変調素子を利用した再生立体像を評価するため、立体映像提示システムの開発と、こうした方式の人体に与える影響の評価

研究開発期間:平成20年度～平成23年度(4年間)
予算:総額89百万程度(上限、平成20年度)

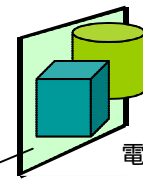
課題ア 空間光変調素子の画素高密度化に関する技術



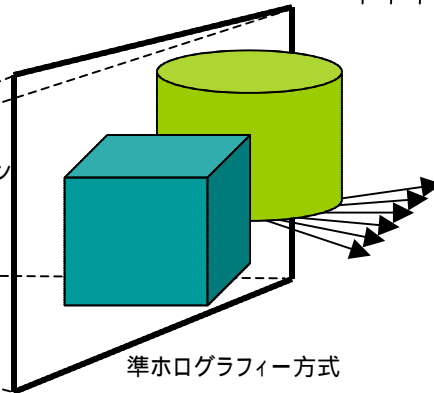
超高精細空間光変調素子



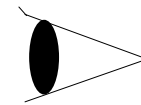
プロジェクション



電子ホログラフィー



準ホログラフィー方式



課題イ 再生立体像の人体に与える影響の評価に関する技術

- ・評価用裸眼立体映像提示システムの開発
- ・再生像の人体に与える影響の評価